
荒国に蘭

亜薇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

荒国に蘭

【Zコード】

N4162BA

【作者名】

亞薇

【あらすじ】

「何があるうと、私は逃げたくない。」比類なき神力と武才、絶世の美貌を与えられた少女麗蘭。孤児として育ちながらも、自分は人にはない特別な『宿命』があることを感じ取っていた。大国の侵略にあえぐ帝国の『皇女』であり、天帝に仕える『神巫女』でもある麗蘭が、己が使命に目覚め仲間と共に成長していく物語。【荒国に蘭】では、麗蘭は皇女という自分の身分を知らず、都を離れて山奥で暮らしている。世にも美しい邪神『黒龍』やその異母弟『邪龍』などの敵、仕えるべき天帝『聖龍』と出会い、戦いの道へ進む

決意を固めてゆく。（ 作者サイト「樂園喪失」に載せたものに修正を加えたものです。 ）

序

其の昔

神々の王 天帝 聖龍神は

せいりゅうじん

此の世に蔓延^{はび}る数々の悪から力弱き人間を救うべく、己の神力を与えて一人の女をお創りになつた。

彼の女、名を 霜 ^{そう} 奈雷 ^{ならい}

清麗かつ聰明、偉大な神力を用いて妖を討つ
“神巫女” “光龍” である彼の女は 死ぬ度に転生する魂を持つ。

五百年ごとに生を受ける光龍
大いなる力でその度使命を全うする。

奈雷没後千五百年、
新たな光龍 清麗蘭
人界に再び下される。

序

暗く、湿った洞穴の中。もう何百年も人々に忘れ去られた地である。

静寂が流れ、時折滴り落ちる水の音のみが鳴り響く。

…突如、そこに光の筋が現れた。

全てが静止しているその場所で、それは一際神々しく映る。

眩い程の光の洪水の向こうからまるで空間に浮き出るよつて、「彼」は静かに現れた。

細く滑らかな黒い髪にすらりとした体躯、黒曜石の如く輝く黒い双眸。一見女と見紛う、此の世のものとは思えぬ程の美貌。

「やつと、出て来られたか。」

その美しい声は、冷たい空氣に乗って低く鳴り響く。

「…千五百年。恐らく未だその程度だろう。それにしては、随分長く待つたように感じるものだ。」

外套を翻し流れる長い髪を白い手で結い上げた彼は、ゆっくりと歩き出す。そして、側に倒れていた白刃の剣を拾いその刃に目を落とす…凍り付くような笑みを湛えたまま。

「兄上、こんな封では長く保たぬと分かっていたであらひ」^モ

その笑みは、全てを呑み込む程深遠な、闇。

「…僕は僕の、『宿』^{しゆく}を果たすとしよう。此の道を選び取ったのだから…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4162ba/>

荒国に蘭

2012年1月10日23時49分発行